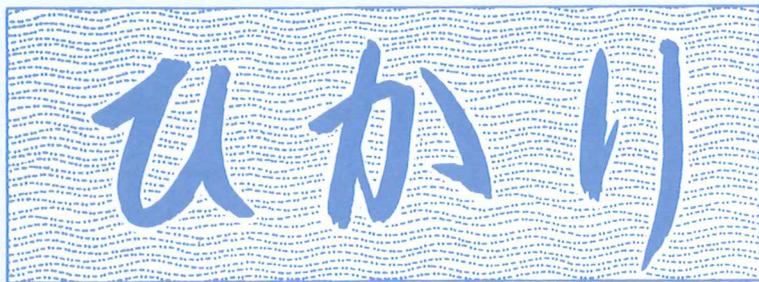


# No. 81

2010年 (平成22年)  
7月1日

発行  
浄土真宗本願寺派  
和歌山教区日高組  
責任者  
鈴木悟峰



袈裟衣かけて  
念仏称えても  
他力ない人  
また迷う

妙好人 浅原才市翁



親鸞聖人750回大遠忌日高組お待ち受け法要

## 阿弥陀経に聞く

### 無量の寿命

『また舍利弗、かの仏の寿命およびその人民〔の寿命〕も、無量無辺阿僧祇劫なり。ゆゑに阿弥陀と名づく』

無量の寿、お仏壇の上にも前門（光照）様が書かれた無量寿という額があります。

みなさんは、あなたの寿命が無量に続くという意味だと思つていませんか？これは、アミダさまの寿命が無量に続くという意味です。アミダさまが永遠におられるから、昔の人も今の私も未来の人も救つてくださるのです。

たとえば、経済的に恵まれない人に金銭を与えることも、病める人に薬を与えることも一つの救済です。

しかし、これらの救済は、一時的な救済で、本質的な救済とはいえません。生老病死に代表される四苦八苦を解決して、永遠の生命を与え、真実に生きる力を与えることによってこそ完全な救済です。

世の中は、一時しのぎしかないけれど、アミダさまは深くて人にはできないことをされている。

神様は光で表現したりしている。

神々は、神々自体は光であるけれども、凡夫も光や無量にしてくれるのは、アミダさまだけです。凡夫を仏さまにしてくれる。

生きているときは煩惱だらけの凡夫の私を、生命が終わったときにアミダさまが凡夫の私を仏さまにしてください。成仏・仏になるのです。

実にありがたいことですが、最近では成仏といえ、何か悲しいイメージになってしまった。（永原）

「口蹄疫問題に思う」

二〇〇九年十一月より、浄土真宗の食事のこ  
とばが一部変更されたの  
をご存知でしょうか。

〈食前のことば〉は、「多  
くのいのちと、みなさま  
のおかげにより、このご  
ちそうをめぐまれました  
。深くご恩を喜び、あ  
りがたくいただきます」、  
〈食後のことば〉は、「尊  
いおめぐみをおいしく  
いただき、ますます御恩報  
謝にとめます。おかげ  
でごちそうさまでした」  
と改められています。

さて、最近注目を集め  
たニュースの一つに宮崎  
県で起こった口蹄疫問題  
がありました。この問題  
は初動対策の遅れもあ  
り、五月末、宮崎県川南  
町から十km圏内の豚や牛  
全ての尊い命を奪わなけ

ればならない事態となり  
ました。

連日報道される中で、

「殺処分」という言葉が  
私の心に引つかりまし  
た。私自身「処分」とい  
う言葉は不適切だと感じ  
たのです。国語辞典には、  
①取り扱いを決めて物事  
の決まりをつけること  
②規則を破った者に罰を  
与える事 ③不要なもの  
や余分なものなどを捨て  
る、売り払う、消滅させ  
るなど適当な方法で始末  
する事、と書かれていま  
す。「処分」は③の意味  
合いで使われているので  
はないかと感じたので  
す。

もし冒頭の食事のこと  
ばのような考え方を持っ  
ていたならば、「殺処分」  
というむごい言葉は報道  
において使われていな  
かったのではないかと思  
います。

私たち人間は、他の動  
植物のいのちの犠牲の上  
にしか、命をつないでい  
くことは出来ません。し  
かし人間至上主義の現代  
社会、飽食の我が国の社  
会にあつて、他の生物の  
いのちを軽んじすぎてい  
るのではないでしょ  
うか。

尊いいのちの犠牲の上  
に我々が生かされている  
という事をかみしめ、食  
事の際には犠牲となつた  
動植物に対し、「慚愧」  
と「感謝」の心を表明す  
る、それが浄土真宗にお  
ける尊いいのちに対する  
心持ちであります。

食事をする際は、〈食  
前のことば〉〈食後のこ  
とば〉を時間があれば自  
ら声に出し、時間が無け  
れば、食べながら心の中  
で称え、その一口一口を  
かみしめて、頂きたいと  
思います。  
(埜崎)

法悦クイズ

官製ハガキにクイズの答え、  
住所、氏名、年齢、電話番  
号、所属寺、御感想、御意  
見等を明記の上、

〒649-1221  
日高郡日高町志賀3851  
善宗寺内 組長事務所  
までお送りください。

※抽選で10名の方に粗品を  
差し上げます。

※締め切り日  
平成22年9月30日必着

※発表は次号

現存する量では、親鸞聖人がご制作されたものが最多といわれている、日本語で書かれた仏さまや高僧方などのお徳や教えをたたえた歌を何といひますか。

次の1～4の中から1つ選んで、番号を書いて下さい。

1 和讃 2 御文章 3 歎異抄 4 浄土三部経

80号の正解は、3の越後でした。正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

由良町 畑中 宏之 様  
由良町 村上 良子 様  
由良町 小林 照代 様  
由良町 浜崎 礼子 様  
日高町 勝浦 崇 様

由良町 川口アヤ子 様  
日高町 佐藤 信子 様  
日高町 湯川 三雪 様  
由良町 磯田 由美 様  
御坊市 塩田 廣一 様

# 親鸞聖人750回大遠忌日高組お待ち受け法要 50年に1度のご勝縁華やかに

4月18日(日)、蓮専寺と光専寺を会場に日高組お待ち受け法要が勤修された。

当日は晴天にめぐまれ、午前10時、光専寺から先導住職・奏楽員・伝供衆に導かれ131名の稚児が行列し蓮専寺に向う。

午前11時から蓮専寺に於いて組内住職僧侶・奏楽員による法要が行われた。午後からは会場を光専寺に移し、落語家の森乃福郎さんによる説教落語「他力本願」や古典落語が披露され、参列した門信徒は何時もと違った説法を笑いの内に聞き入った。

## <準備整えられた法要寺院と行事寺院>



前日に僧侶・門徒総出で準備を整えました

## <稚児衣裳をつけて>



どんな衣裳を着るのかな



ちよっときゆうくつ

## <いよいよ出発>



出発進行



動き出す稚児行列

☆行事報告

・日高組「定期総会」  
三月二十七日(土) 妙願寺に於いて平成二十一年度「定期総会」が開催された。総会の開催に先立ち、各寺院の責任役員・総代物故者五名の追悼法要が勤修された。

「定期総会」は各寺院から組会議員三十三名出席、即生寺住職が議長で開催された。

・総代会「定期総会」  
四月十日(土)西教寺に於いて開催された。二十一年度の事業・会計報告に続き、二十二年度の事業・予算が審議された。また、役員任期による改選が行われ、会長(坂口進美氏)が留任された。

総会後の研修会は、西教寺住職によるご法話を聴聞する。

・仏教婦人会連盟定期総会  
四月二十九日(木) 西教寺に於いて開催された。

総会に先だつて、物故会員二十六名の追悼法要が講師に幡多哲也師(本願寺派布教使)を招き勤修された。

☆行事予定

・日高組「子どもの集い」(キッズ・サンガ) 第四回、日高組「子どもの集い」を七月三十日(土)に開催します。

各寺院を通じて参加募集を致します。対象者は小学生程度の男女となります。仏さまの元に集い、ゲームなどして楽しい一時を過ごす催しです。夏休みの思い出の一日となることでしょう。参加をお待ちしています。会場の規模、準備の都合上、先着30名とさせていただきます。詳しくは各寺のご住職にお尋ね下さい。

・総代会前期研修会  
総代会前期研修会(寺院めぐり)を七月十八日(日)に開催します。

今回訪問させていただく寺院は、宝国寺・円明寺・教専寺です。研修会に引き続き懇親会を開催致します。

・その他  
五月三十日、由良町大引、浄明寺において、新任職萩野益次氏が浄明寺の法灯を継職され、継職奉告法要が勤修されました。

日高組通信

<30分の道のりを練り歩きます>



華やかに



お父さんに抱っこされて



お母さんと手をつなぎ



しっかり歩いてね



帽子が気になる?



ベビーカーでスヤスヤ



ハカマがながいよ~



まんまんちゃんにごあいさつ



なが~い行列



御導師



楽人さんお疲れさま

<みんなでおつとめ>



親鸞さまありがとう



右回り3周します



ジャンジャンポ〜ン



声高らかに

<説教落語>



森乃福郎さん

楽しくお聴聞



他力とは  
如來のハタラク



この度の日高組における「お待ち受け法要」の修行には、各教化団体の役員さまを始め多くの方々にご協力をいただきました。おかげで、親鸞聖人のご遺徳を偲ぶ思いがひとつになった法要であったと受け止めていきます。

来年にお迎える「親鸞聖人七五〇回大遠忌法要」にお誘い合わせ参拝しましょう。